



JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員、地域から「必要とされ、なくてはならない存在」となることを目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

## 未来を拓く協同組合 SDGsとJA



監修=JCA(日本協同組合連携機構)

第29回

### パートナーシップで 目標を達成しよう

SDGs(エスディーゼイズ、持続可能な開発目標)が掲げる17の目標では、地球環境を守りながら、すべての人が尊厳をもって生きられる社会と、誰もが豊かな暮らしを継続的に営むことのできる経済の実現をめざしています。目標を実現するために欠かせないのが、パートナーシップです。目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」は、国同士だけでなく、自治体、団体、企業、個人等あらゆる段階でパートナーシップを緊密に結び、強力に動いていくことが求められます。

JAや生協等、日本の協同組合は国内外における協同組合間の協同に早くから取り組み、さまざまな課題解決に向けて活動を進めています。JAと生協が農業体験を行い、地域農業の維持・振興を図る事例や、協同組合間で職員の人材育成に取り組む事例もあります。また、地域農業の振興や地域の活性化等を目的に、JAは行政との連携協定の締結に積極的に取り組んでおり、協定数は2020年3月時点で計576協定にのぼります。



### SDGsに関連する主な取り組み

#### 年間を通じた農業体験(長野)

生産者と消費者が農作業を通じ、食の大切さを共に考えることをめざして、JAと生協が連携して農業体験を実施しています。JAが管理する畑で、生協の組合員や家族が年間を通じて農業体験をします。近年ではJA正組合員やその後継者、准組合員、役職員とその家族にも参加対象範囲を広げ、地域農業の維持・振興に寄与しています。



#### 協同組合の職員の人材育成(兵庫)

兵庫県協同組合連絡協議会とコープこうべが共催でそれぞれの職員の人材育成を行っています。JAや生協等、協同組合の次世代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、地域の中で協同組合が果たすべき役割を共に考えるための研修を実施しています。参加者は現地調査やボランティア活動等に取り組み、報告会を行っています。



研修会「虹の仲間づくりカレッジ」

JCAホームページ等から作成



耕そう、大地と地域の未来。  
(JA広報通信より)

### JA広島市の自己改革

#### 書面議決で4議案承認 JA YOUTH広島市 総会

JA YOUTH広島市は、7月28日に総会開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、代議員制の書面議決による総会とし、以下の4議案全てにおいて、賛成多数で承認されました。

- 第1号議案 令和元年度活動報告並びに収支決算書の承認について
- 第2号議案 令和2年度活動計画(案)並びに収支予算(案)の承認について
- 第3号議案 支部の編成について
- 第4号議案 役員の改任について



新委員長に選任された武内誠さん

令和元年度の活動については、研修会・講習会などへの参加を通じた担い手としての実践活動や、各地での農業祭への参加等によるJAとの連携強化、グリーンツーリズムの受入れやひろしまフードフェスティバルへの参加を通じた農政・広報活動について報告されました。令和2年度は盟友の加入促進および活動強化、JA運動への積極的参加のための学習・実践運動、JAとの連携強化、地域振興・農業振興の取り組みへの積極的参加、支部間・地域間交流などを行うことが決議されました。支部編成については、可部支部が可部・安佐支部に、安佐・山県支部が山県支部に変更になりました。

また、武内誠副委員長が新たに委員長に、2年間委員長を務めた福田卓己委員長を副委員長とする役員の改任が承認されました。武内誠委員長は新委員長就任にあたり「コロナ後の本格的な活動再開に備え、今年度は勉強会や研修を企画したい。そして、地域農業をJA広島市、盟友とともに盛り上げたい」と抱負を述べました。